



赤小だより

10月号
令和2年9月30日
北区立赤羽小学校

笑顔あふれる学校～にこにこ ぴんぴん 自ら進んで～>

次なる学び

校長 石塚 博

いつもでしたら、もう1～2か月は後のようだった気がします。今年は毎朝のように、用務主事が正門前で、桜の落ち葉はきをしています。人間だけでなく、植物にとっても、厳しい残暑に堪えてきた証なのでしょう。私も休み時間毎に、熱中症指数計を持って校庭に立ちました。子供たちは、校庭で伸び伸びと体を動かしたいと思ったでしょうが、熱中症予防のため、室内で過ごすよう呼びかける日が幾度もありました。

10月を前にして、ようやくほっとする気候が戻ってきました。同時に1学期から2学期への橋を渡る時期になりました。以前、七夕のことを記しましたが、竹には、節があります。節は、竹が高く丈夫に伸びるために欠かせません。毎日の生活においても、節目は大切です。適切な評価を与えながら、これまでの学校生活を振り返らせ、新たな目標をもたせるなど、次なる学びへのモチベーションを高めていくことが、子供たちの成長にとって肝要です。

ところで、毎週月曜日には、子供たちへのメッセージを伝える全校朝会を行っています。感染防止のため、全校児童が一堂に会する場を避けており、健康観察や子供たちの状況をしっかりと把握するために使おうと、放送による朝会を行っています。朝の元気な挨拶の声は放送室まで届きますが、話を聴く子供たちの様々な様子は残念ながら、伝わってきません。言葉のやりとりだけでなく、その時の相手の表情や仕草等から感じられる気持ちを想像しながら、コミュニケーションすることが集団生活の基本であるということに改めて感じます。

本校では今年度、子供たちの主体的な学びをいかに創っていくかを重視し、日々、研修研究に努めています。教師から与えられるのを待つのではなく、子供が自ら問いをもち、見通しをもちながら問題解決する子供たちの活動を大切にしています。考えを深め、よりよい解決の方法を見出し、確かな知識や技能を身に付けるには、ここでも、コミュニケーション、他との豊かな伝え合いが必要になります。感染予防のための活動制限はありますが、少しでも多く、学び合う楽しさを感じる時間を創りたいと思っています。

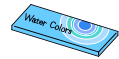
保護者の皆様にはこれまで、深いご理解とご支援を賜りましたことに、心から感謝しております。子供たちの更なる成長のため、今後ともお力添えを何卒よろしくお願い申し上げます。

10月の予定

1日(木)		都民の日(休業日)	18日(日)		運動会予備日①
2日(金)	A6	安全指導日	19日(月)		運動会振替休業日
5日(月)	A5	委員会(6時間目)	20日(火)	A5	運動会予備日②
6日(火)	A6	運動会係活動(5・6年係児童と4年応援団:6時間目)	21日(水)	A4	生活科校外学習(1年:荒川探検) スポーツテスト期間始
8日(木)	A6	マーチング	22日(木)	A6	マーチング
9日(金)	A6	終業式	23日(金)	A5	避難訓練
10日(土)		秋季休業日始(10日～12日)	26日(月)	A5	なかよし活動(5時間目) クラブ(6時間目)
13日(火)	A6	始業式 マーチング	27日(火)	A4	研究授業5校時(2年2組)
14日(水)	B5	運動会全体練習 運動会係活動(5・6年係児童と4年応援団:5時間目)	28日(水)	B5	ハロウィン集会
15日(木)	A6	マーチング 運動会全体練習予備	29日(木)	A6	マーチング引き継ぎ式(6時間目)
16日(金)	A5	運動会リハーサル マーチングリハーサル	30日(金)	A4	研究授業5校時(5年2組) 色覚検査(4年)
17日(土)	A4	運動会 (終了予定時刻12:30頃:給食・弁当なし)	31日(土)	D3	土曜授業日(公開なし) スポーツテスト期間終

☆スクールカウンセラー来校日 中川SC 8日、15日、22日、29日
篠村SC 2日、9日、16日、23日、30日

写生会を終えて



今年度はコロナの影響と熱中症対策により、各学級の図工の学習の時間に、室内で行う写生会となりました。

1年生は野菜・果物、2年生は荒川のカニ、3年生は鍵盤ハーモニカとリコーダー、4年生はマイグッツ（校帽・筆箱・水筒）、5年生は靴、6年生はランドセルを描きました。

一人一人が各学年のテーマと向き合い、モチーフを画用紙の中にどう表すかよく考え、真剣に取り組む姿が見られました。1・2年生はクレヨンを使って目の前にあるモチーフを、元気いっばいに描くことができました。3～6年生は市販されている絵の具の色そのままではなく、パレットにたくさんの色を出して混色し、実際に近い色になるように追究していました。

作品が完成したときには「できた！」とやりきった声が聞こえてきました。イメージで描くのではなく、目の前のモチーフをよく見て、細かいところまで集中して制作する姿がとても素敵でした。

【図工専科 小林 実央】

ぼくたちは、写生会でくつをかきました。その時に思ったことは二つあります。一つ目は、くつをかくの、かんたんだと思っていましたが、意外にむずかしかったことです。くつのひもの部分を一本一本かいたり、絵の具の色をくつに近づけたり、くつにかいてある細かい文字を丁寧に書き、色をぬったりしました。二つ目は、絵の具をぬり終わった時にほっとしたこと。うまくくつの絵がかけるか心配でしたが、ちょっとうまくかけたので良かったです。来年もがんばりたいです。

【5年1組 谷本 晃健】

私は、写生会でかいた「くつ」は、自信作です。絵をかいていて思ったことは、リアルさとジューズぬりの割合がむずかしということでした。とてもなやんだことを覚えています。また、友達作品をみたら、それぞれいろいろな持ちようをした絵があって見ていて楽しかったです。写生会のことをふり返ってみると、むずかしかったくつのぬい目の部分、上手くかけたかげの部分などたくさんのことが頭にうかびあがってきました。自分の絵にしっかりと向き合えたので良かったです。

【5年1組 堀江 悠衣】

写生会の5年生のテーマは「おきにいのくつ」でした。わたしは、スポーツシューズのasics(アシックス)のくつをかきました。「a」のラインのところや、足を入れる中の部分のかけを表すのがむずかしかったです。時間内にかけるか不安でしたが、先生や友だちがアドバイスをしてくれたおかげで、なんとかかき終えることができました。くつをかくのむずかしかったですが、またかいてみたいという気持ちになりました。

【5年2組 濱中 さりあ】

写生会でぼくたち5年生は「おきにいのくつ」をかきました。くつのりんかくをかくの簡単にはできましたが、くつひもやこまかいもようをかくの難しかったです。また、絵の具をぬる時にえんぴつでうすく書いた部分が消えてしまったり、かけをかいた時にかたちがうまくかけなかったりしてしまい苦労しました。でも、人の作品の良いところをさんこうにしてかいていたら前よりも満足できる絵がかけました。とても楽しい写生会になりました。

【5年2組 小川 広之真】

しゃせい会がありました。5年生は「おきにいのくつ」をかきました。ぼくは、絵をかくのがすごくにがてです。でも一生けんめいかくことができましたと思います。とくにがんばったところは、くつひもです。うまくかけなかったけど、先生からアドバイスをもらって少しうまくかくことができました。ナイキのマークもむずかしく大へんでした。絵がにがてなぼくでも、うまくかくことができました。来年もがんばります。

【5年4組 池田 正光】